

平成 28 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(平山地区)

開催日時	平成 28 年 11 月 25 日 (金) 午後 7 時から午後 8 時 40 分	天気 晴れ
場所	平山集会所	
町民参加者	男 20 人 女 10 人 (50 代 4 人、60 代以上 26 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、総務防災課長、商工観光課長、都市整備課長、生涯学習課長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：洒水の滝周辺整備等について》

○滝壺までのアプローチについては事業化されているのか。事業化されているとすれば、年度別の計画などを教えていただきたい。

○常実坊境内のトイレの水洗化の進捗状況について教えていただきたい。

○工事が始まると観光客は滝を見ることはできなくなるのか。

○滝の写真撮影をする方や絵を描くために来られる方が多くいるが、写真撮影などをする際に滝、赤橋、周辺の緑の景色がマッチしていてすごくいいと思う。記憶では滝壺の近くに赤橋があったと思うが、その方たちのためにも赤橋の色を塗ってもらうことはできないか。

○洒水の滝周辺整備については、景観も考えた上で進めてもらいたい。

○観瀑台までは行けるような整備をしてもらいたい。

○夏場には、洒水の滝の観光を目的とした観光バスが一日に数台来ていたが、町から観光会社に依頼しているものなのか、それとも観光会社が自ら考えてやっているものなのか。また、今後町が観光会社に斡旋するようなことは考えているのか。

○近年は子どもの遊ぶ環境が限られている。平山地区にあるのびのび公園は、健康を維持するための器具はあるが、子どもが遊べるような遊具があまりないので、子どもが遊べるような遊具を設置してはどうか。

○和合橋が非常に狭く車の出入りもだいぶあり、和合橋を渡る観光客もいるので、人道橋を造ることも考えられるのではないか。

《テーマ：町政全般》

○平山地区から瀬戸地区につながる古道がある。その古道は今使われていなくて整備もされていない状況である。県、町の森林施策の中で200mの範囲の道路がある場合は、施策の中に取り組めるといふ考えがあるが、古道が見放されてしまっているように思う。古道を災害時に利用するという視点で考えることもできると思うがどうか。

○スマートICができた際には交通量も増えてくると思うが、平山地区の県道は非常に狭いということもあり、この県道の整備を町としてはどのように考えているのか。

○町の防災訓練などの際に自衛隊に協力してもらって、密に連絡・連携が取れるようにしていただきたい。また、自衛隊が町のグラウンドの広さとか環境などを調査し、ヘリコプターが降りることができる場所を調査してくれたことがあると聞いたことがある。自衛隊から町にどの程度の情報が流れているのか教えていただきたい。